

学校給食会だより



平成25年3月25日（公財）福島県学校給食会 福島市松川町字平館 16-2 024-567-4711

ホームページにも掲載されております。 <http://www.fgk.or.jp/>

メールアドレス Kawamoto@fgk.or.jp

会長あいさつ

ようやく待ち望んでいた春が到来しました。今年の冬は、例年より、寒さが厳しく雪も多かった分、うれしさも格別かと思えます。東日本大震災から早くも3年目となりましたが、今年こそ復興のスピードが増し、学校給食が完全復活することを期待したいと思います。

福島県学校給食会は昨年4月に新しい公益法人制度のもとで公益財団法人として新たにスタートしました。

2年目となる今年も、職員一人ひとりが公益法人としての使命を深く自覚し、職員が一丸となって、学校給食の普及・充実に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



事業運営の基本方針

- 1 安全で安心できる食品を、県内全域に、適正な価格で、安定的に供給します。
- 2 地域の製造・加工業者が協力・連携し、顔の見える安心給食を提供します。
- 3 栄養バランスのとれた質の高い食材や献立を研究・開発し、提供します。
- 4 学校栄養教諭等の学校給食に関する研究・研修や教育活動等を支援します。
- 5 学校給食情報の発信や国・県等の事業を受託し学校給食の普及を推進します。

【（公財）福島県学校給食会平成25年度からの事務局体制】

- ・会長 丹治光雄
- ・常務理事兼事務局長 五十嵐孝雄
- ・事務局参事兼次長 斎藤 肇
- 【総務課】
 - ・課長 眞壁 眞 ・主任 斎藤 保 ・事務補助員 野地美幸
- 【普及検査班】
 - ・主任栄養技師 川本輝子 ・検査技師(嘱託) 佐藤政義
 - ・検査補助員(放射性物質検査) 加藤恵美、佐久間優子、氏家由子
- 【業務課】
 - ・課長 三浦初男
 - [基本食品] 主事 二瓶敏嵩 ・事務補助員 佐久間久美子
 - [一般食品] 主事 奥山直樹 ・主事 川上寛恭 ・事務補助員 柏倉恵美、熊谷奈津
 - ・技能員 阿部浩樹 ・労務補助員 丹野美紀

※ 新学期から、一般食品受注受付窓口を次のとおり担当させていただきます。

担当地区等	主担当者
県北、県南、相双（県立学校を含む。） いわき市内の県立学校	くまがいのつ 熊谷奈津
県中、会津、南会津（県立学校を含む。）	かしらのみ 柏倉恵美
福島市立の学校給食センター（西部、北部、南部、東部） 郡山市立の学校給食センター（中学校及び第二給食センター）	かわかみひろやす 川上寛恭
いわき市立の全校及び全学校給食共同調理場	おくやまなおき 奥山直樹

【(公財) 福島県学校給食会理事会・評議員会開催】

本会において、去る3月6日平成24年度第2回理事会を、3月19日平成24年度第2回臨時評議員会を開催しました。



学校給食用食品の安全・安心をより一層高めてまいります。

また、今後も引き続き、学校給食における食品の開発を進め、更に、食育の推進を支援させていただくため、食育に関する調査研究会や、研修会、講習会の開催、関係情報の収集・提供を積極的に行うとともに、教材等の貸出、学校給食実施現場からの給食用食品検査の充実を図るなど、学校給食の普及充実事業を一層強化してまいりたいと考えます。

平成25年度事業計画・収支予算等が審議の上、承認されました。

学校給食をめぐる環境は、以前として厳しい状況にありますが、本会としては、精米加工及び食品加工の業者との厳密な連携を図り、食品検査や委託加工工場の衛生管理を徹底するとともに、引き続き、取扱食品の全品目について放射能物質検査を実施し、提供する



【平成24年度行事予定について】

期 日	行 事 名	主 催	開 催 場 所 等
6月22日(土) 23日(日)	第8回食育推進全国大会	内閣府ほか	広島県広島市 (派遣事業)
6月11日(火) 18日(火) 25日(火)	学校給食管理システム操作 研修会	(公財) 福島県学校給食会	(公財) 福島県学校給食会
7月23日(火) 24日(水)	学校給食衛生講習会	(公財) 福島県学校給食会	(公財) 福島県学校給食会 (調理員 100名程度)
7月下旬から 8月下旬	学校給食用パン講習会	(公財) 福島県学校給食会	県中・会津
7月31日(水) 8月1日(木)	第54回栄養教諭・学校栄養職員 研究大会	文部科学省ほか	奈良県奈良市 (派遣事業)
9月12日(木) 13日(金)	学校給食衛生検査技術講習会	(公財) 福島県学校給食会	(公財) 福島県学校給食会 (栄養職員 40名程度)
9月19日(木)	学校給食優良団体・功労者表彰式	福島県学校給食研究会 (公財) 福島県学校給食会	福島市
10月11日(金) 18日(金)	学校給食用パン品質調査会	(公財) 福島県学校給食会	(公財) 福島県学校給食会 (52検体)
10月16日(水) 17日(木)	栄養教諭・学校栄養職員研修会	(公財) 福島県学校給食会	(公財) 福島県学校給食会 (栄養職員 120名程度)
10月31日(木) 11月1日(金)	第64回全国学校給食研究協議大会	文部科学省ほか	三重県津市 (派遣事業)

平成25年度購入予定の

新貸出教材をご紹介します！

種類	名称	購入量
野菜はどこになるのかな タペストリーと野菜	Aセット 玉葱、大根、トマト Bセット さつまいも、レタス、なす Cセット 人参、キャベツ、南瓜 Dセット 胡瓜、じゃがいも、白菜 タペストリー	1セット 1セット 1セット 1セット 4枚
エプロンシアター	元気いっぱい健康エプロン	2セット
カード	食育クイズカード	3セット
紙芝居	ありがとう！はやね はやおき あさごはんマン いっしょがいいね おはしの はーちゃんとしーちゃん ひみつのあかいジュース ころり おにぎり できあがり	2作 2作 2作 2作 2作
食育おりがみ	おいしく折ろう（70点の食べ物の折り方）	5冊
正しい箸の持ち方	豆つかみゲームキット	6セット
CD	食育CD教材 もっと食育	5枚
専門誌	ワークショップでつくる食のアイデア集	3冊
フードモデル	食育・学習教材用フードモデル」 食育・間食フードモデル 赤・黄・緑別基本食品	4セット 3セット 3セット
DVD	朝食と生活リズムおもしろ大実験 洋風のマナー編 和風のマナー編 健康なからだをつくる食事	5枚 5枚 3枚 5枚

※ 現在、準備しております。詳しい内容、貸出開始時期などは「平成25年度貸出教材リスト」に明記いたしますので、ご覧ください。

また、従来の教材も今まで同様にご活用願います。

【取り扱い食品の残留農薬検査結果について】

本会取扱食品の主食（パン及びめん）を原料小麦粉製粉会社3社ごとに4品目、また、外国産冷凍野菜6品目について残留農薬検査を外部専門機関に依頼し検査しました結果を下記のとおりお知らせします。

検体名	結果	検体名	結果
学校給食用パン （阿部製粉㈱製小麦粉）	不検出	冷凍きぬさや（中国産）	不検出
学校給食用めん （阿部製粉㈱製小麦粉）	不検出	レンコン（水煮）スライス （中国産）	不検出
学校給食用パン （日清製粉㈱製小麦粉）	不検出	冷凍たけのこ（短冊）（中国産）	不検出
学校給食用パン （日東富士製粉㈱製小麦粉）	不検出	冷凍インゲン（タイ産）	不検出
冷凍むき枝豆（中国産）	不検出	冷凍ブロッコリーカット IQF	不検出

※ 海外において、使用頻度の高い有機リン系農薬57項目について検査しています。

【「平成24年度9回にわたり「食育に関する緊急調査研究会」を開催いたしました。】

本会では平成18年度から食育の普及充実に資することを目的として、「食育に関する調査研究会」を設置し研究を重ねてまいりました。

平成24年度1年間は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災、福島原発事故から得た学校給食の実態経験を記録に留め、緊急時対応の教訓として構築する必要性と、放射能災害の長期化が予測されることを踏まえ、学校給食用食材の放射性物質の科学的処理方法などについて資料を収集整理し、緊急時における対応を調査研究会でまとめてきました。

講師に元福島市立福島第三小学校長 松浦芳孝氏、指導助言者に福島県教育庁健康教育課 田村正美氏、両名のご指導、ご助言をいただきながら進めてきたところです。委員の先生方は19名で構成され、教頭先生、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員計19名を選出させていただき、24年度8回の調査研究会と臨時的調査研究会1回の計9回開催し、ご協力をいただいて「食育に関する緊急調査研究会報告書」として発行する予定です。

4月のはじめには、皆様のお手元にお届けする予定となっておりますのでご覧ください。

最後に、報告書のアンケートにご協力いただきました小・中学校及び学校給食共同調理場様、また、お忙しい中、最後まで作成に携わりご尽力いただきました講師、指導助言者、委員の先生方に心より御礼申し上げます。



調査研究会開催時の、全体打合わせ、グループ活動の様子

「放射性物質の影響により使用食材を考慮した献立の工夫」について

相馬市立中村第一中学校 栄養教諭 櫻井 長子

相馬市は、東日本大震災・原発事故以降、児童及び生徒、その保護者の学校給食に対する不安を解消するために、平成24年1月13日より調理後の学校給食の測定を始めました。また、平成24年4月9日からは、相馬市立小中学校に測定機器が設置され、測定員が①給食前のもの②給食後のものを測定しています。ヨウ素131・セシウム134・137の検出限界値を10ベクレル未満とし、それを超えた場合には、相馬市教育委員会に連絡をし、当日の給食の提供については安全が確認されてい



放射能測定室

る米飯及びパン、麺、並びに牛乳のみの給食提供とするということで給食を実施しています。

この各学校での測定に際し、相馬市教育委員会が学校給食物資納入業者に対して事前説明会を実施し、業者の方々へ測定の趣旨や説明を行ったことにより、業者の理解や協力も得られ学校での測定がスムーズに行われています。

同年7月に基準値を超えるセシウムが検出され、予定していた給食が提供することができない際に活用する、支援のレトルトカレーが市より配当されています。

測定器と周辺機器

給食の内容は、学校給食を再開当初の平成23年4月25日から、震災前の形態と変わることなく、主食・主菜・副菜・汁物・牛乳等のそろった給食を提供することができています。これは、多くの業者が震災直後から、通常営業が可能だったということが大きいと思います。しかし、以前のように地元の米・野菜・果物（いちご・なし・りんごなど）・地元の魚介類（小女子・ほっき・青のり・たこ・いか・鮭・すずき・めひかり・すずき・あじ・さば・いなだ・たらなど）を、給食に活用することは未だ難しい現状が続いています。

今後は、相馬市の海・山・平野の四季折々の食材を活かした給食を提供できる日に向けて、市教育委員会や関係機関と連携し、今できることから前向きに取り組んでいきたいと思っています。

食育コーナー掲示資料

食品の新たな基準値の設定について

1. 見直しの考え方

- 現在の暫定規制値に適合している食品は、健康への影響はないと一般的に評価され、安全は確保されているが、より一層、食品の安全と安心を確保する観点から、現在の暫定規制値で許容している年間総量5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに基づく基準値に引き下げる。
- 年間1ミリシーベルトとするのは、
 - ① 食品の国際規格を作成しているコーデックス委員会の現在の指標で、年間1ミリシーベルトを超えないように設定されていること
 - ② モニタリング検査の結果で、多くの食品からの検出濃度は、時間の経過とともに相当程度低下傾向にあること
- 特別な配慮が必要と考えられる「飲料水」、「乳児用食品」、「牛乳」は区分を設け、それ以外の食品を「一般食品」とし、全体で4区分とする。

2. 基準値の見直しの内容（新基準値は平成24年4月施行予定。一部品目については経過措置を適用。）

○ 放射能セシウムの暫定規制値		○ 放射能セシウムの新基準値	
食品群	規制値	食品群	基準値
飲料水	200	飲料水	10
牛乳・乳製品	200	牛乳	50
野菜類	500	一般食品	100
穀類		乳児用食品	50
肉・卵・魚・その他			

※1 放射能ストロンチウムを含めて規制値を設定
※2 放射能ストロンチウム、プルトニウム等を含めて基準値を設定

開始日	測定内容	測定方法
平成24年1月13日より	調理後の学校給食測定 ・5日間供した約1人分の目安の給食（主菜・副菜・汁物の具及び果物）	市役所に設置されている機器による測定
平成24年4月9日より (セシウム134・137の検出限界値を10ベクレル未満)	① 給食前のもの ・当日の給食で摂取量の多い6品目（主菜・副菜・汁物の具に使用する食材並びに果物を一人当たりの摂取量）を4人分混ぜたものを毎日測定 ② 給食後のもの測定 ・調理後の給食（主菜・副菜・汁物の具、果物一人当たりの摂取量）を5日間混ぜあわせたものを5日間に1度測定	相馬市立小中学校に設置された機器による測定（各校1機ずつ）

「放射性物質測定器の導入と、 学校給食が出来上がるまで」

伊達市保原学校給食センター 主任栄養技師 三浦 輝美

○ はじめに

当センターは昭和49年に設立され、現在39年が経過した施設であり、受配校は幼稚園6園、小学校11校、中学校4校と飯舘村の1園、3校の約3800食を提供する施設である。飯舘村には、平成23年の2学期から給食を提供している。

○ 放射性物質測定器の導入と、学校給食が出来上がるまで

東日本大震災以来、児童生徒の安全・安心の確保のため、放射性物質の検査に追われている毎日である。給食の提供は平成23年4月より実施することができたが、当初、検査機器がなかったため、他の施設において翌日の使用食材等を数品目、測定していた。平成24年3月に測定装置の寄贈があり、本格的な測定が開始され、平成24年10月からは、県の事業により検査機器を導入し測定を行っている。

なお、伊達市は基準を10Bq/kg以下に設定し、一般に流通する食材より、安全性の高い食材の提供に努めている。

毎日の検査内容については、牛乳、主食、1食まるごと検査、翌日使用分の食材から1～2品を行う。毎日の検査と並行し、3週に1週、福島県の学校給食モニタリング事業（ゲルマニウム検出器における検査）にも取り組んでいる。1食まるごと検査については、平成24年4月から本格的に開始した。

毎朝の準備作業として、測定装置のウォーミングアップ、エネルギー校正、バックグラウンドがあり、測定開始までに70分の時間が必要となる。

検査については、1サンプルにつき約1kgが必要で、フードプロセッサーで細かくし袋詰めをした後、容器に詰めて20分間の測定を行う。1食まるごと検査の結果により、安全を確認してから、園児・児童・生徒に給食を提供している。

なお、検査結果については伊達市のホームページや毎月の食育だよりにより保護者等に情報提供を行っている。

○ おわりに

大変な作業ではあるが、安全な給食の提供をするためには、欠かすことのできない作業となっている。給食開始当初は、米については、会津若松市産、その他の食材は他県の物を使用していたが、検査機器の導入により福島県産の食材も少しずつではあるが、使用している状況である。

今後は、県内外に関係なく安全な食材の提供を心がけて給食を提供したいと考えている

編集後記

◆花の色が美しい季節になりました。

東日本大震災、原子力発電所事故から丸2年が経過しました。

災害の復旧は遅れていますが、季節はいままでのように何事もなく移り変わり、淡くやさしい色の桜の花はいつものように私達の心を和ませ、ひと時の安らぎを与えてくれます。

そして、新たな希望を持ち、また1年、元気に頑張ることができるのではないのでしょうか。春休みは、新年度を迎える準備で何かとあわただしくあっという間に過ぎていくことと思います。

平成25年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本会でも、学校給食用食品委員会選定による新規の食材等も多数準備しておりますので、ぜひ、他の食材同様ご活用くださるようお願いいたします。

担当者 普及検査班 主任栄養技師 川本 輝子

